

# 令和元年度浦幌町教育行政執行方針

## (はじめに)

令和元年第2回浦幌町議会定例会にあたり、教育行政の執行方針を申し上げます。

これからの社会は、AIやビッグデータ等の先端技術の高度化に伴って社会構造等が大きく変わり、「Society 5.0」の到来を見据えた人材育成が求められています。

そのため、浦幌町では、「自立」と「協働」の教育理念を掲げ、学校、保護者、地域、関係機関等が相互に「つなぐ」活動を広げ、ふるさとを愛し、社会の変化に主体的に向き合いながら未来を切り拓く逞しい児童生徒の育成を目指して、導入5年目となる小中一貫コミュニティ・スクールを推進していきます。

また、総合教育会議等を通じて、町長と教育委員会が円滑な意思疎通を図り、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立って教育活動を展開し、「社会に開かれた地域とともにある学校づくり」及び「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を進めていきます。

## I. 学校教育

喫緊の課題である学力や体力・運動能力向上の取組を一層充実させるため、「魅力ある学校づくり」など6点にわたって施策を申し上げます。

### (1) 魅力ある学校づくり

「社会に開かれた教育課程」の実現を図るため、小中一貫コ

コミュニティ・スクール9カ年計画に基づき、学校運営協議会等において、熟議・協働・マネジメントの機能を生かした主体的な取組を推進していきます。

また、学園評価委員会を中心に学園・学校評価を実施し、「うらほろの育みアクションプラン」の取組状況等の実態把握をもとにPDCA検証改善サイクルを確立し、学校改善を促します。

安全教育・防災教育については、危機管理マニュアルの点検・見直しを行い、交通安全や防災のための指導・訓練を計画的に実施するとともに、不審者や登下校時の総合的な安全対策についても関係機関や支援団体の協力のもとに取り組みます。

さらに、浦幌町通学路交通安全プログラムに基づき、児童生徒が安全に通学できるよう、通学路の安全確保に引き続き取り組みます。

## **(2) 確かな学力**

全国学力・学習状況調査等を活用した検証改善サイクルに基づき、幼保小中合同の研修会や乗り入れ授業、ジョイント教室、合同運動会等を開催するほか、家庭学習や放課後及び長期休業期間中の学習サポートを充実していきます。

また、学校、保護者、地域、関係機関等と危機意識や課題意識を共有し、地域総ぐるみで「早寝・早起き・朝ごはん（あいさつ・ノーテレビデー）運動」を継続するとともに、「スマホ・ゲーム機使用のルール」に基づき生活リズムの改善に取り組み、「教育の日実践交流会」などで「朝読・家読」運動、「うらほろリレー家読」運動などの取組成果を交流します。

情報活用能力の育成については、プログラミング的思考を育む教育活動を行うとともに、中学校においては、教育用コンピ

ュータの更新と大型モニターの導入を進めます。

また、ICT環境整備のモデル校として上浦幌中央小学校にタブレットパソコンを導入し、授業活用の成果等の検証を行います。

来年度からの外国語活動等の本格実施に対応するため、外国語指導助手（ALT）の2名体制を継続し、グローバルな児童生徒の育成に努めます。

特別支援教育については、児童生徒一人一人に応じた支援を充実するため、特別支援教育支援員を配置し、学校内での支援体制を継続するとともに、特別支援教育連携ネット等の関係機関との連携や教育指導体制及び特別支援教育の充実・強化に努めます。

### （3）豊かな心

「特別の教科 道徳」では、命の大切さ、人を思いやる心の育成を推進し、「考え、議論する道徳」の実現を目指して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習としてボランティア活動などの社会活動を適切に取り入れるなど、道徳科の指導方法等の工夫改善を図り、質的転換に努めます。

また、道徳教育推進教師を中心とした指導体制を確立し、地域の人材や外部講師の活用、道徳科の公開など、家庭や地域に開かれた道徳教育の充実に努めます。

10年目を迎えた小学5年生による農林漁家での宿泊体験学習を引き続き行い、食の大切さを学ぶとともに、豊かな人間性や社会性を育みます。

キャリア教育については、自己肯定感の育成や人間関係形成能力の育成を目指し、地域の人材活用や関係団体との連携によ

り、児童生徒の「生きる力」を育む教育を進めます。

生徒指導については、小中一貫教育推進の観点に立ち、「浦幌町いじめ防止対策基本方針」を柱に、「学校いじめ防止基本方針」によるいじめの未然防止、早期発見・早期解消等に努めます。

#### **(4) 健やかな体**

児童生徒が体力の向上を実感し、自己肯定感や達成感を高めることができるよう、学校・家庭・地域が連携を深めながら、地域総ぐるみで体力や運動能力向上の取組を進めます。

町内全小学校で実施し効果をあげているフッ化物洗口については、健康教育・むし歯予防対策として、給食後の歯磨きの励行とともに取組を継続します。

食物アレルギーを有する児童生徒が安心して学校生活を送るために、就学時からの状況把握と、学校全体での情報共有及び保護者等と相談できる体制を作り、関係機関と連携し適切な対応に努めます。

昨年度から供用開始となった学校給食センターでは、栄養教諭を中心に、食育の推進、地場産食材の活用推進、食物アレルギーへの対応等の基本構想に基づき、学校給食衛生管理基準に則って運営します。

また、町内産食材を使用した「浦幌みのり給食」を継続し、食の大切さを学ぶ食育をより充実させるとともに、学校給食費無料化を継続します。

#### **(5) 資質の向上と組織の活性化**

教職員の服務規律の徹底や資質の向上、学校組織の活性化に努めます。

また、児童生徒の健康・安全を確保するとともに、教職員が

意欲とやりがいを持ち、健康に働くことができる環境整備に向けて、部活動休養日の設定や変形労働時間の活用等、働き方改革を着実に進めていきます。

#### **(6) 教育環境の整備**

児童生徒等の安全・安心な学習・生活環境を確保するため学校室内環境測定等の実施を継続するほか、浦幌小学校屋外・体育館放送設備更新工事や上浦幌中央小学校教員住宅建替工事などの施設整備等を行います。

## **II. 社会教育**

次に、社会教育については、「第8期浦幌町社会教育中期計画」に基づき、「小中一貫コミュニティ・スクール」や「教育の日」の取組を通じて、生涯学習社会の充実を目指します。

#### **(1) 生涯学習の推進**

地域の人材や環境を活用した生涯学習を推進するため、地域学校協働本部とコミュニティ・スクールが両輪となって連携・協働しながら地域住民と教育関係団体等のネットワークを図り、地域教育力の向上を目指します。

各公民館では、公民館まつりや文化祭、文化週間等事業を通じた公民館活動の充実を図り、博物館や図書館の各種講座を通じて、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を目指し、生涯学習による地域活性化の促進を図ります。

各公民館の整備については、中央公民館研修室等床改修工事や吉野公民館玄関手摺設置等を実施します。

家庭教育については、子育て支援センターや学校・地域と連携・協働した学習機会や情報提供の充実を図り、家庭の教育力

向上に努めます。

また、「早寝・早起き・朝ごはん（あいさつ・ノーテレビデー）運動」、「家読運動」、「スマホ・ゲーム機使用のルール」の啓発を行い運動の推進を図っていきます。

少年教育については、令和元年度より隔年実施となる「友好の町絆協定相互交流事業」において岩手県洋野町の小中学生との友好関係を深めながら規律と責任感を養いリーダーとしての資質を高めていきます。

学校・家庭・地域と連携し、防災を考えた通楽（学）合宿の開催、放課後の体験活動を支援する子ども居場所づくり事業「オーラポロひろば」は、土曜日学習も含めて実施します。

高齢者教育については、寿大学を継続して開設し、子どもや若者と高齢者が触れ合う事業などを実施することで、「学びと活動」の活性化を促し、健康で生きがいを持てる環境づくりに努めます。

図書館事業については、「第2期浦幌町子どもの読書推進計画」に基づき、各種事業を展開します。

家族と一緒に本を楽しむ時間づくりの啓発やブックスタートを活用して家読運動の推進を図るほか、図書館まつり等を開催しながら親子が利用しやすく、気軽に足を運びたくなるような図書館の運営に努めるとともに、公民館図書室・学校図書室と連携し、地域における読書活動の推進を図るため、図書館ボランティアを各学校へ派遣します。

博物館事業については、博物館講座や博物館開館50周年を記念した企画展などを開催するとともに、常設展示室の改修計画を進め、時代に対応した内容の見直しや情報発信技術の整備に

取り組みます。

また、新たに町指定文化財や国指定文化財及び北海道指定文化財などに相当する各種文化財の調査・検討に向けた取り組みを進めます。

アイヌ文化については、地域固有のアイヌ文化について調査し、積極的な情報の発信に努め、地域のアイヌ協会や北海道アイヌ民族文化財団と連携し、アイヌ文化の継承と展示の充実を図ります。

## **(2) スポーツの振興**

スポーツの振興については、スポーツ教室を中心とした事業や親子を対象とした体操教室等を継続し、町民の体力向上、健康増進に取り組みます。

スポーツの生活化・定着化を促進するため、「スポーツリーダー養成講習会」や「スポーツ少年団認定員養成講習会」を開催し、指導者の育成に努めます。

総合スポーツセンター及び周辺施設と浦幌パークゴルフ場は、指定管理者のノウハウを最大限に生かし、住民サービスの向上を図ります。

町民協働のボランティアにより、町の体育施設を自主的に管理していただいている関係団体の皆さんと意見交換を行い連携しながら、安全且つ安心した管理となるよう努めます。

体育施設の整備については、浦幌パークゴルフ場バンカー改修工事、上浦幌パークゴルフ場木柵修繕等を行い、利用者の安全確保等と要望に応え、生涯スポーツの振興に努めます。

以上、令和元年度の教育行政執行方針を申し上げます。

「十勝はひとつ、子どもたちのために」との熱き思いを胸に、地域の皆様と共に浦幌町の教育を前進させてまいります。

町民の皆様並びに町議会議員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和 元年 6月10日

浦幌町教育委員会教育長 久 門 好 行